

<プレスリリース>

2018年9月12日

SEA-Tank Terminal

 **MOL CHEMICAL TANKERS**

Sea-Tank Terminal Antwerp NV (以下“SEA-Tank”)と MOL ケミカルタンカーズ (以下“MOLCT”) はベルギーのアントワープで、SEA-MOL NV を設立致しました。

SEA-MOL NV は SEA-Tank が 51%、MOLCT が 49%を保有し、アントワープ港において複数輸送手段との接続が可能なケミカルタンクターミナルを建設・営業することを目指します。

そのため SEA-MOL NV はアントワープの Delwaidedok において、現在 Sea-invest グループ (SEA-Tank の所属する企業グループ) の Antwerp Bulk Terminal が利用する 20.8 ヘクタールの用地を確保する予定です。さらに隣接する 24.4 ヘクタールの用地についても、アントワープ港湾局と利用契約を締結する予定です。

SEA-MOL NV は、(石油) 化学品の顧客に貯蔵その他の付加的サービスを効率的に提供する輸送ハブとなるようなケミカルタンクターミナルを計画しています。これは ARA (Antwerp, Rotterdam, Amsterdam) 全般、特にアントワープにおけるケミカル貯蔵及び付加的サービスへのニーズの高まりに応えようとするものです。

ターミナルはあらゆる顧客・船社が利用可能であり、タンカー、バージ、トラック、鉄道による接続が可能です。ターミナルにおけるオンサイトでのブレンディング、ドラム詰め、ISO コンテナ保管等の付加的サービスの提供により、顧客がロジ機能を集約し、サイト間のトラック輸送等の手間を省いてよりコスト効率を高め、混雑を回避することで高い付加価値を提供しようとするものです。

段階的なタンク増設により、有機・無機の液体化学品、ベースオイル等を貯蔵可能な最大 50 万立方メートルのタンク容量の建設を念頭に置いています。総投資額は最大 400 百万ユーロ、直接的な長期雇用として最大 100 人を見込んでいます。ターミナルの第 1 フェーズの営業開始は 2021 年半ばを目指します。

本プロジェクトは、ケミカル及びその周辺産業の集積の更なる発展を目指すアントワープ港湾局の長期的ビジョンに沿うものです。

SEA-MOL NV に対し用地の一部を明け渡す Antwerp Bulk Terminal は、Delwaidedok の残りの用地において営業を継続するものの、その一部はアントワープ港の別のターミナルに移す予定です。

お問い合わせ先：

(Sea-Tank Terminal)

Bart Laureys

General Manager

bart.laureys@sea-invest.com

in Belgium

(MOL ケミカルタンカーズ)

野村 容子

Deputy General Manager

Project Management Department

project@molchemtankers.com

in Singapore

SEA-Tank Terminal Antwerp NV について

SEA-Tank Terminal Antwerp NV はベルギーの SEA-Invest グループに属する非上場企業です。SEA-Tank は鉱物油、バイオ燃料、植物油、肥料、各種ケミカル等を取り扱うターミナルの営業を多数展開しており、グループの貯蔵総容量は 3.3 百万立方メートルを超えます。

MOL ケミカルタンカーズについて

MOL ケミカルタンカーズはシンガポールに拠点を置き、小口を中心とする液体化学品、動植物油等の海上輸送において世界をリードするタンカー会社です。足下で 65 隻、1.6 百万 DWT 規模の船隊を運航しており、そのほぼ全てがフルステンレス船。株式会社商船三井の 100%子会社です。